

[果樹部門 平成 30 年度 指導参考資料]

事項名	りんご害虫ヒメボクトウの交信攪乱剤コッシンルア剤（ボクトウコンーH）利用による防除法		
ねらい	ヒメボクトウはりんごなどの果樹の枝幹内部を幼虫が集団で食害し、樹の衰弱や枯死を招く。本種を対象とした交信攪乱剤ボクトウコンーHを利用した防除法を検討したところ、実用性が確認されたので参考に供する。		
指導参考内容	<p>1 防除法 成虫が発生する前の6月下旬頃に、ボクトウコンーHを10a当たり100本の割合で設置する。設置は目通りの高さとし、なるべく園地全体に均等になるように行う。交尾雌の飛び込みによる被害の発生を防ぐために、地域ぐるみでできるだけ広い面積で設置し、1か所の設置面積は少なくとも50a以上とする。</p> <p>2 留意事項 ヒメボクトウの幼虫は数年かけて成虫になるため、少なくとも3年以上連続して使用する。</p> <p>3 薬剤名等 (1) 一般名：コッシンルア剤 (2) 商品名：ボクトウコンーH (3) 有効成分：(E)-3-テトラデセニル=アセタート 74.1% (4) 人畜毒性：普通物</p> <p>4 使用基準（果樹類） (1) 適用害虫：ヒメボクトウ (2) 使用目的：交尾阻害 (3) 使用量：100本～150本／10a (4) 使用時期：成虫の発生初期～終期 (5) 使用方法：ディスペンサーを対象作物の枝に挟み込み、又は巻き付け設置する。</p>		
期待される効果	ヒメボクトウの発生密度低下と被害軽減が図られる。		
利用上の注意事項	<p>1 本資料は平成29年12月13日現在の農薬登録内容に基づいて作成した。</p> <p>2 農薬を使用する場合は、必ず最新の農薬登録内容を確認して使用者の責任のもとに使用すること。 「農薬情報」(<a href="http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_info/">http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_info/</a>) 「農薬登録情報検索システム」(<a href="http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm">http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm</a>) また、短期暴露評価の導入により使用方法が変更された農薬は、登録内容の変更前であっても、変更後の使用方法で使用すること。</p> <p>3 既に枝幹内部に食入した幼虫には効果がないので、エアゾル剤（平成29年度指導参考資料）又はバイオセーフ（平成27年度県内で参考にできる技術一覧）による防除を行う。</p>		
問い合わせ先（電話番号）	りんご研究所 病虫部（0172-52-2331）	対象地域及び経営体	県下全域のりんご作経営体
発表文献等	平成28～29年度 りんご研究所試験研究成績概要集（りんご）		

【根拠となった主要な試験結果】

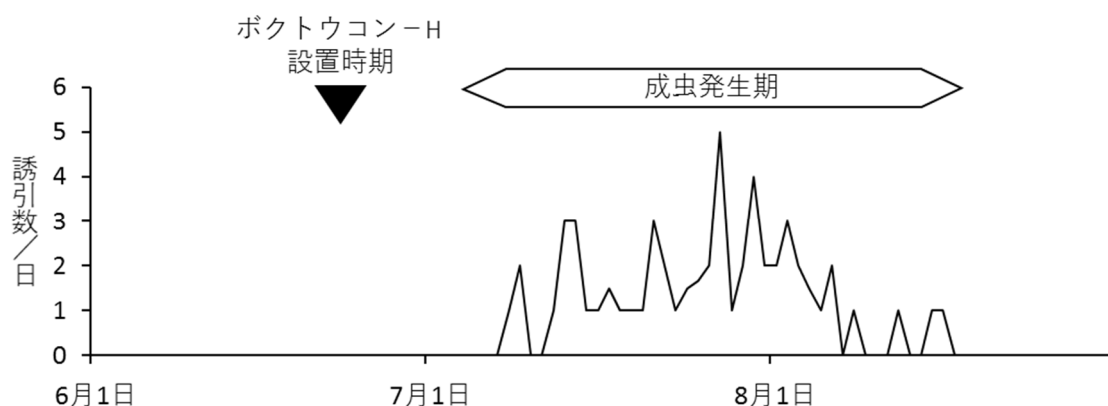


図1 フェロモントラップによるヒメボクトウ雄成虫の誘引消長 (平成24～26年 青森りんご研)  
 (注) りんご研究所の圃場にヒメボクトウを対象としたフェロモントラップを1台設置し、雄成虫の誘引数を毎日計数した。

表1 ボクトウコンーH設置によるヒメボクトウ雄成虫の誘引阻害効果 (平成28年 青森りんご研)

薬剤名	設置本数	雄成虫誘引数				
		7月21日	8月1日	8月9日	9月1日	合計
ボクトウコンーH	100本/10a	0	0	0	0	0
無処理	—	73	22	24	4	123

(注) 五所川原市持子沢の樹齢数十年のマルバカイドウ台樹(品種混在)の現地りんご園で試験を行った。6月22日にボクトウコンーHを100本/10aの割合で設置した。また、隣接する園地を無処理区とした。両区にヒメボクトウ対象のフェロモントラップを1台ずつ設置し、雄成虫の誘引数を比較した。

表2 ボクトウコンーH設置によるヒメボクトウ雄成虫の誘引阻害効果 (平成29年 青森りんご研)

薬剤名	設置本数	雄成虫誘引数			
		7月20日	8月1日	8月16日	合計
ボクトウコンーH	100本/10a	0	0	0	0
無処理	—	44	56	26	126

(注) 黒石市上十川の樹齢数十年のマルバカイドウ台樹(品種混在)の現地りんご園で試験を行った。6月29日にボクトウコンーHを100本/10aの割合で設置した。また、隣接する園地を無処理区とした。両区にヒメボクトウ対象のフェロモントラップを1台ずつ設置し、雄成虫の誘引数を比較した。

表3 ボクトウコンーH設置によるヒメボクトウ雄成虫の誘引阻害効果 (平成29年 青森りんご研)

薬剤名	設置本数	雄成虫誘引数			
		7月20日	8月1日	8月16日	合計
ボクトウコンーH	100本/10a	0	0	0	0
無処理	—	13	28	29	70

(注) 鶴田町妙堂崎の樹齢数十年のマルバカイドウ台樹(品種混在)の現地りんご園で試験を行った。6月29日にボクトウコンーHを100本/10aの割合で設置した。また、隣接する園地を無処理区とした。両区にヒメボクトウ対象のフェロモントラップを1台ずつ設置し、雄成虫の誘引数を比較した。

(参考価格) 10a当たり100本設置で、3,110円(税込み)。